④共同追究後半（思考を深める）

「10は0.01の1000個分といっていいのかな？」

→「0.01が100個で1になって，1が10個で10になって，100個が10個あるから1000個になる。(数直線を使って)」

「1が0.01の100倍で，10が１の10倍だから，100倍の10倍で1000倍になる。」

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの考え方にも共通していることは何だろう？」

→「1の1/100が0.01，1/1000が0.001になっている。

0.01の100倍，0.001の1000倍が１になっている。」

③個人追究：数直線を分けたり，計算したりして説明する。

②学習課題：1の1/10の1/10になっていることから，数直線を使って，1の何分の1になるか考えよう。

②見通し：0.01や0.001は1を何等分した数かわからない。

→1の1/10の1/10が0.01だから数直線を分けてみればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・1と0.1，0.1と0.01の関係を学習してきている。

・1/10の位までの小数について数直線に目盛りをとって示している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・長さや重さなど測定値を単位で表し，1/10にしていくことで，1/1000の位までの小数の表し方を考えてきている。

・整数で十進位取り記数法のしくみを学習してきている。

教材研究ノート№5-A-1

０

１

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・小数も，整数と同じように単位が10倍ごとになっている。

・小数は，1を10等分し，その1目盛りをさらに10等分してどんどん小さい単位になる。0.1=1/10，0.01=1/100，0.001=1/1000

⑥定着･活用問題

次の数を数直線に示しましょう。

ア1.01　　イ110／100　　ウ10／1000　　エ10の１／100

≪学習問題≫

1と0.1，0.01，0.001はどのような関係にあるでしょうか。

数の秘密を探ってみましょう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・個人追究の中で，言葉や図，数直線を使って，どうしてそれでよいのか，一人一人に自分の説明を書かせたい。

・共同追究において，数直線で説明するうちに，もととしている「1」が不明確になる場合があるので，もとになる量を問い返す発問を用意しておきたい。また，子どもの説明に対して基準とする「1」を問い返すなど，常に意識して説明させたい。